

# 林間の収穫祭に最多の557人

認定NPO法人・鎌倉広町の森市民の会が運営下の5つの会（田んぼ、畑、森、自然観察、散策路の会）



とともに、実行委員会（望月高明委員長）を構成して計画した第9回・広町緑地収穫祭は、好天に恵ま

れた11月22日（土）、予定通り催され、スタッフ71人をふくめて過去最多の557人（うち高校生以下259人）が参加しました。

例年の会場だった御所谷入り口広場が、来春の都市

## 収穫祭の参加数

第1回	226人
2	474
3	508
4	422
5	519
6	132
7	480
8	536
9	557

林公園開園に備える市の工事で使えないため、小竹ヶ谷の林間の草地を整備して会場にしました。やや手狭なので、味噌田楽やミニ門松教室を割愛しましたが、参加数にほとんど影響がなく、食品類の提供を開始した午前11時すぎには、芋煮、おにぎり、お餅の販売台前に、長い行列ができました。

## おにぎり、お餅、芋煮、石焼き芋

### どれにも行列、完売

お餅500食余り、おにぎり約400食、芋煮約350食（どれも調理実費100円）が0時半ごろに完売。石焼き芋200食余りも、焼ける前から整理券を出す人気でした。前年より規模を縮小したにもかかわらず、ひょうたん



でマラカス、稲わらで正月飾りを作る教室もふくめ、売上

は去年並みでした。

石焼き芋班は朝の6時、他のスタッフは7時から、テントを張り、かまどに点火して準備。おにぎりやお餅の調理、その販売に、ことしも小学生たちが大人なみに活躍、「この子たちが収穫祭の未来を担ってくれば……」という期待を抱かせました。

参加者のほとんどは家族連れで、葉が黄ばみ始めたヤマザクラ、クヌギの根方に持参のシートを広げて、おにぎりや芋

煮とともに、晩秋の樹林の景観を賞味していました。

